

The International Collocation Association

# 国際連語論学会

平成29年4月

第2回会報

文責：高橋弥守彦

## 1. 第5回国際連語論大会報告

第5回国際連語論学会大会は下記のプログラムにそって研究発表などが行われました。大会は1月29日(日)と30日(月)の2日間に渡って開催され、活発な討論の中にも和やかな雰囲気の中に大会を終えることができました。これも研究発表や特別講演で発表された会員各位、および鈴木康之先生をはじめとする役員各位と裏方として献身的な協力をしてくれた大東文化大学院生スタッフのおかげだと思います。ここに改めて心からの感謝を申し上げます。ただ、参加者が30名前後と少なかったことが惜しまれた。

### 国際連語論学会第5回大会1月29日(日)1日目プログラム(2016年度)

受付(9:00～) 総合司会 劉爾瑟(大東文化大学博士後期課程)

開会の辞 鈴木泰(専修大学) 9:30-9:40

1. 清朝の中国語における“把”構文の変遷について 9:40-10:15

小路口ゆみ(大東文化大学博士後期課程)

2. 存現文再考 神野智久(大東文化大学博士後期課程) 10:15-10:50

以上司会 大島吉郎(大東文化大学)

休憩(15分:10:50-11:05)

3. 連体形をとる「してある」について—終止形との比較を通して 11:05-11:40

迫田(呉)幸栄(名桜大学)

4. “就”, “就要” と “快”, “快要” の比較研究 11:40-12:15

王慶(九州外国語学院)

以上司会 丁鋒(大東文化大学)

昼休み(60分 近くにレストラン多数あり) 12:15-13:15

特別講演

① コトバのしくみの原理・原則 13:15-14:15

鈴木康之(大東文化大学名誉教授)

② 比較、対比をめぐる副詞(句)と発話意図—「まして」「いわんや」、「とは裏腹に」  
などを中心に— 田中寛(大東文化大学大学教授) 14:15-15:15

③ 連体形のアスペクトについて 15:15-16:15

須田義治(大東文化大学教授)

以上司会 王学群(東洋大学)

休憩 (15分 : 16 : 15 - 16 : 30)

5. 程度表現の対照研究—陳述のモダリティ表現  
時衛国 (愛知教育大学) 16 : 30 - 17 : 05

6. 人間の変化を表す連語に関する一考察  
彭広陸 (中国・東北大学秦皇島分校) 以上司会 続 三義 (東洋大学) 17 : 05 - 17 : 40

閉会の辞 王亜新 (東洋大学) 17 : 40 - 17 : 50

懇親会 大東文化会館 K-402 司会 高橋弥守彦 (大東文化大学) 17 : 50 - 20 : 00

### 国際連語論学会第5回大会 1月30日 (月) 2日目プログラム (2016年度)

日時 : 2017年1月30日 (月) 午前9時より午後6時まで

受付 (9 : 00 ~) 総合司会 神野智久 (大東文化大学博士後期課程)

開会の辞 須田義治 (大東文化大学) 9 : 20 - 9 : 30

1. 助動詞“要”の研究—《骆驼祥子》を中心に—  
蘇秋韻 (大東文化大学博士前期課程) 9 : 30 - 10 : 05

2. 戦後の善隣書院の歴史と『改定急就篇 : 会話篇』の語彙分析  
—単語の章を中心に— 永野千絵 (中山大学中国語言文学系博士研究生) 10 : 05 - 10 : 40  
以上司会 竹島 毅 (大東文化大学)

休憩 (10分 : 10 : 40 - 10 : 50)

3. “被字句”における仕手について  
劉 爾瑟 (大東文化大学博士後期課程) 10 : 50 - 11 : 25

4. 場所義格助詞「まで」の本質義への考察  
—場所義介詞“到”との比較を通して— 趙 鑫 (上海外国語大学 博士後期課程) 11 : 25 - 12 : 05

5. 新聞社説における結束性の日中対照研究  
—省略表現を中心に— 単 艾婷 (九州大学 博士後期課程) 12 : 05 - 12 : 40  
以上司会 石井宏明 (東海大学)

昼休み (60分 近くに食堂多数あり) 12 : 40 - 13 : 40

6. 中国人日本語学習者による三字の漢字語の学習について  
—二つの意味に分けられるものを対象に— 何 龍 (愛知淑徳大学) 13 : 40 - 14 : 15

7. 初級学習阶段的汉语习得特点和男女差异  
—以日本留学生为例— 楊玉玲 (北京外国語大学) 14 : 15 - 14 : 50

8. 韓国と日本の高校国語教科書の語彙対照研究  
李美淑 (韓国明知大学稿) 以上司会 時 衛国 (愛知教育大学) 14 : 50 - 15 : 25

休憩 (15分 15 : 25 - 15 : 40)

9. 「が格」の有情物と存在動詞「ある」で作る存在文  
—中国語訳存在文における数量詞の有無— 洪 安瀾 (閩南師範大学) 15 : 40 - 16 : 15

10. 中国語の「動詞+時量詞+ (的) +目的語」構文のアスペクト性について  
福本陽介 (名古屋産業大学) 16 : 15 - 16 : 50

11. 連語論から見る中日両言語 —位置移動の動詞“下+客体”— 16:50-17:25  
高橋弥守彦 (大東文化大学)

以上司会 安本真弓 (高千穂大学)

閉会の辞 彭広陸 (中国・秦皇島分校) 17:25~17:35

※学会費、当日の入会申し込み及び学会費(年会費:社会人 2000 円、院生 1000 円)

※懇親会費 1000 円(学会の諸先輩を囲んで楽しく語らいあいましょう)

※第 5 回国際連語論学会大会参加費: 500 円 (29, 30 日共通、会員・非会員共通)

※国際連語論学会第 2 回中国東北支部度大会が会長の宋協毅先生、副会長の林楽常先生、李光赫先生、鄒善軍先生のもと、2017 年 3 月 12 日に大連大学で盛大に開催されました。今回の東北支部大会では会長の宋協毅先生のお計らいにより、当日高橋弥守彦の退職記念セレモニーもたくさんの会員の見守る中、画面上での紹介や花束の贈呈などがあり立派に行われました。

※中国北京支部は北京外国語大学の李所成先生、北京理工大学の譚崢先生を中心に毎年 5 回前後の活動が行われています。

## 2. 国際連語論学会拡大常任理事会

第 5 回国際連語論学会 (2016 年度) 大会の会計報告が承認され、本年度 (2017) の活動方針が下記のように決まりました。

出席: 鈴木康之、鈴木泰、大島吉郎、田中寛、竹島毅、石井宏明、橋本幸枝、高橋弥守彦 など 10 名

日時: 2017 年 3 月 7 日 (火) 午後 1 時 30 より約 2 時間

場所: 大東文化会館 k-403

議題:

### 1. 役員改選と顧問推薦について

#### 1) 役員

会長: 王学群

副会長: 須田義治、田中寛

常務理事: 石井宏明、王亜新、王学群、大島吉郎、温琳、金田章宏、上地宏一、呉幸栄、時衛国、続三義、須田義治、田中寛、竹島毅、丁鋒、橋本幸枝、安本真弓

理事: 彭広陸、許慈恵、宋協毅、林楽常、李光赫、鄒善軍、呂汝泉、孫海英、周彤、劉健、張岩紅、王燕、戴宝玉、劉笑明、李所成、譚崢、劉艷文、畢曉然、高靖、王慶、劉志偉、洪安瀾、劉爾瑟、李美淑、ソルクンス、浜野豊美、福本陽介、小高愛、長野由季、宮本大輔、神野智久

## 2) 顧問組織

名誉会長：鈴木康之

名誉副会長：高橋弥守彦

顧問：鈴木康之、鈴木泰、高木一彦、高橋弥守彦、松本泰丈、湯元昭南

※ホームページ担当：上地宏一 ネット上からの会員への連絡：洪安瀾

※会計担当（橋本幸枝、小路口ゆみ）

※旧役員の仕事の整理などの都合上、新役員は6月以降に発足の予定

## 2. 2017年度大会（国際連語論学会第6回大会）について

1) 日程：2018年2月24日（土）、26日（日）

2) 会場：大東文化会館ホール

3) プログラム：研究発表募集（8月25日〔金〕）、研究発表申込締切り（10月25日〔水〕）、  
プログラム作成（10月31日〔火〕）、ホームページ上へのプログラム掲載（11月6日〔月〕）

4) 会員名簿について：会員名簿作成（神野、小路口、洪安瀾、蘇秋韻）

5) その他の関連事項：会報作成（高橋弥守彦）

## 3. 学会誌第42号『偶数号』の発行について

1) 編集委員長：田中寛

2) 査読委員長：時衛国

3) 原稿の締め切り：5月31日厳守、10月31日査読終了

4) その他の関連事項：第42号は12月初旬に出版予定、3月12日〔日〕に大連大学で中国東北支部大会開催、『学会誌』第41号（奇数号）は中国東北支部に一任、印刷などは偶数号と同様に日本で出版する。

## 4. 会費などについて

1) 国際連語論学会第5回大会会計報告〔小路口〕

1) 年間会費：社会人2000円、院生1000円

2) 参加費：1000円

## 5. 会員の拡大について

1) 日本側会員

2) 中国側会員

3) 韓国側会員

4) その他の関連事項

## 6. その他

i. 月例会：国際連語論学会の月例会は、例年通り8月と2月を除き、原則として毎月第3土曜日の午後開催する。発表希望者の方は、テーマと要旨500字前後を高橋弥守彦（Eメール：3441748402@jcom.home.ne.jp）までメールでご連絡ください。

ii. 鈴木泰先生と高橋弥守彦の古稀記念号がすでに出版された旨の報告があった。この件

については編集委員長を担当なされた須田義治会員と大島吉郎会員のご努力にお礼を申し上げます。

iii. 学会の規約や活動などの基本条文を高橋弥守彦が昨年度に引き続き作成することとなった。その後、再度拡大常務理事会で検討することとした。

### 3. 国際連語論学会 2017 年度（平成 29 年度）役員名簿

---

本年度は高橋弥守彦会長が定年を迎え顧問と名誉副会長に推選されました。あらたに会長として王学群（東洋大学）、副会長として須田義治（大東文化大学）、田中寛（大東文化大学）の3氏が選ばれました。役員名簿は上記の通りです。

### 4. 『研究会報告』第42号 原稿の締め切り

拡大理事会で討議の結果、『研究会報告』42号（国際連語論学会学会誌第7号）の締め切りが5月31日〔火〕となりました。本学会誌は大会や月例会で発表なされた会員の研究発表をまとめた論文が中心ですが、それ以外の会員や非会員からの投稿も受け付けております。執筆要領は「A4で10枚以内、1行は40字、1頁は36行。脚注、英文題目など」です。詳しくは既刊の学会誌を参考にしてください。メールでの投稿原稿は時衛国（Eメール：[shicheng@auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:shicheng@auecc.aichi-edu.ac.jp)）までお送りください。なお、原稿は返却いたしません。

### 5. 年会費について

年会費は毎年2月に国際連語論学会大会が開催されたときに受け付けていましたが、これでは年会費納入状況があまり良くないので、昨年度からは会報を発行し、大会や月例会の活動を中心に会員各位に会報をメールで発送し、交流をはかるとともに、年会費を納めて頂いた会員には学会誌をお送りすることが承認されました。なお、後日、振込先などをご報告いたします。

### 6. 事務局からのお知らせ

※会費納入のための郵便預金通帳を作成中です。

※月例会の研究発表者を募集しております。高橋弥守彦（Eメール：[3441748402@jcom.home.ne.jp](mailto:3441748402@jcom.home.ne.jp)）までテーマと要旨500字前後をご連絡ください。